



シロチドリ



平成29年9月15日発行

第14回荒尾市健康福祉まつり開催！

平成29年6月4日(日)、荒尾総合文化センターで、『いきいき・かいてき・元気な荒尾』をテーマとした第14回荒尾市健康福祉まつりが開催されました。当日は晴天にも恵まれ、多くの来場者がありました。会場では、医療・福祉・介護の体験コーナーや展示コーナーなど、たくさんのイベントが行われ、大盛況でした。

『在宅ネットあらお』は、今回で3回目の参加でしたが、前年同様に市民の方にPR活動をさせて頂きました。医療機関や施設の皆様には『在宅ネットあらお』の名が浸透してきているように感じますが、まだまだ市民の方の認知度は低いです。今後も皆様のお役に立てるように普及啓発に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



第17回 事例検討会開催！

「多職種で見守る栄養サポート」

荒尾市歯科医師会医療連携担当 田中みどり

平成29年6月7日(水)19時より「第17回在宅医療連携室事例検討会」が、荒尾市医師会館にて荒尾市歯科医師会担当で開催された。参加人数は、66名で、参加職種は、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、介護職、その他であった。事例内容は2事例2部構成で行われた。1部では、「第13回在宅医療連携室事例検討会」にて提示した在宅医療・介護・福祉連携事例のその後について、経過と検討点の追加報告を行った。前回の事例検討会の際に検討点として挙げられた言語聴覚士が新たに加わり、言語訓練が開始された経過を筆者の代読形式で報告し、さらに、在宅訪問担当歯科医として行っている、ゼリーやプリンを使った摂食嚥下訓練の経過と口腔細菌動態と誤嚥性肺炎の危険についておよび訓練に対するご本人の意欲についての問題点を挙げた。2部では、重度アルツハイマー型認知症、正常圧水頭症(Up shunt)で施設に入所されている方が住み慣れた施設から別の施設へ移動をされた後に誤嚥性肺炎を発症され、中核病院へ入院となり、退院後に誤嚥性肺炎再発の恐れから、食事面について多職種で情報共有しながら支援を行った事例についてリレー形式で発表した。まずは、ご本人さまの生活環境変化について日常の様子を移動される前の施設のパークハウス諏訪公園サービス提供責任者 野中涼氏、移動後のガーデンハウス築山サービス提供責任者 芳賀美穂子氏にご説明頂いた。次に、誤嚥性肺炎で問題となる咀嚼機能と口腔内管理について、担当歯科訪問医として筆者が説明し、摂食嚥下評価と訓練について有明成仁病院リハビリテーション部 言語聴覚士 内野裕介氏、身体面について同所属の理学療法士 松岡由紀子氏によるリハビリテーションの経過と現状について報告を行った。総括は、在宅担当医のふじさわクリニック 医師 藤澤和久氏が行った。チームで情報共有しながら検討を行ったことで、現在、御本人さまは、摂食嚥下機能に問題はなく、食形態を落とすことなく、安全な食環境で食事を摂られている。

事例検討会には、御本人さまの支援御家族にも同席して頂き、最後に感想を述べて頂いた。専門職種それぞれの職務内容の相互理解と情報共有の意義は大きくより良い支援に繋がると考えられる。また、動画や映像等による情報共有の意義もあるという意見も出た。



第18回 事例検討会開催！

アドバンス・ケア・プランニングを知っていますか？～どう生きるかを共に考え、支えて行こう～

荒尾市民病院 緩和ケア認定看護師 松山 美保

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の定義は、今後の治療・療養について、患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのことです。そのために、①患者の意向を確認したうえで、家族・友人と共に話し合わせ、②患者の同意のもと、話し合いの結果が記述され、③定期的に見直され、ケアにかかわる人々の間で共有されることが望ましいとされています。

がん患者に限らず、『人生の最終段階における医療を受ける“その人”』の意思決定を支えるためには、医療福祉従事者間のコミュニケーション・顔の見える関係が大切です。人生の最終段階のことを、一人で決めないこと、みんなで決めることが重要であり、患者・家族と患者にかかわるすべての医療従事者が話し合うプロセスが重要なのです。互いに異なる価値観を情報共有していくことが出発点になります。ACPは患者、家族、医療従事者そして地域社会を巻き込んだ意識改革が必要ですが、まずはこの事例検討会をきっかけに“その人”の価値観を意識したコミュニケーションをはじめてみませんか。



第19回事例検討会開催のお知らせ

第19回事例検討会は10月4日(水)19時より荒尾市医師会館で開催いたします。

事例提供機関は、**荒尾市地域包括支援センター**です。

皆様、お誘いあわせの上、ぜひお越しください。



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお
 荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)
 TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
 ホームページにも載せておりますのでご覧ください
 担当: 青木